

第1回ロボット機器普及化促進研究会開催のご案内  
「人間共存環境下におけるロボット機器の安全方策」  
主催:名古屋工業大学森田・佐藤研究室  
共催:名古屋工業大学研究協力会  
産学官連携センター

本研究会は、ロボット・メカトロニクス機器を社会に普及するために必要な知識を専門家による講演を通じて習得することを目的といたします。

研究成果が事業化するまでには多くの障害があり、研究から開発段階の実用化に至るまでの「魔の川」、実用化へと進んだプロジェクトの事業化までの「死の谷」を越え、事業化されて市場に出された製品やサービスが、他企業との競争や真の顧客の受容という淘汰の荒波「ダーウィンの海」に耐えねばなりません。したがって、開発したロボット機器が社会に普及していくためには、その主目的のみならず、デザイン性・操作性・安全性などの付加価値が必要となります。しかし、大学や企業においては、これらの教育環境が必ずしも充実しているとは言えません。

本年度は、これらロボット機器の普及化に必要な知識のうち、安全性について専門家に講演をしていただきます。近年、ロボットに対しては自動車産業などで用いられる産業機械のみならず、医療・介護・福祉・リハビリといった分野や、パーソナルモビリティや家庭内ロボットといったサービスロボットの分野における事業化が期待されています。このようなロボットに対しては、従来の産業機械に行っていた安全方策では十分に対応できず、新しい安全方策が必要です。

そこで、今年度の研究会では、人間共存環境下での安全方策について専門的に研究している、長岡技術科学大学 システム安全専攻 産学官連携研究員 五十嵐広希氏をお招きし、レクチャーを行ってまいります。五十嵐氏はこれまで、Segway や研究用移動ロボットの開発・販売、マネキン型のロボット・災害対応ロボットの開発など、人型ロボットや移動ロボットに関する研究開発および事業化に従事してきました。移動ロボットの検証実験「つくばチャレンジ」では安全に関する責任者として、人間が共存する公共環境下でのロボットのリスクマネジメントの研究に従事し、サービスロボットなどの安全工学が専門でいらっしゃいます。

本研究会は年度内2回の開催を予定しております。本年度1回目の今回は基礎的な知識の習得を目的と致します。たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

記

日時:2016年1月12日(火) 15時より  
場所:名古屋工業大学 6号館11階大会議室

プログラム:

- 15:00 開会挨拶および講師紹介
- 15:10 講演(120分、途中休憩10分)  
講演題目:「人間共存環境下におけるロボット機器の安全方策(入門編)」  
長岡技術科学大学 システム安全専攻 産学官連携研究員 五十嵐広希氏
- 17:20 閉会挨拶  
(交流会の準備)
- 18:00 交流会

申込み〆切:2016年1月8日(金)  
参加費:無料(交流会は研究協力会会員2,000円、非会員3,000円を徴収いたします)

参加申込み先: sato.noritaka@nitech.ac.jp (E-mailでお申込みください)

問い合わせ先:〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町名古屋工業大学 おもひ領域 森田・佐藤研究室  
TEL 052-735-5115

※ 名古屋工業大学への案内地図および建物配置図は、<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html> をご覧ください。

---

申込書

名古屋工業大学 森田・佐藤研究室(sato.noritaka@nitech.ac.jp) 宛

ご所属:

ご氏名:

メールアドレス:

お電話:

第1回ロボット機器普及化促進研究会に参加します。

交流会に参加します。

※参加する[ ]に○印を記入の上、送付ください。

事前アンケート(自由記入・可能でしたらお答えください)

・職種など、ご専門をお教えてください:

・安全方策に関する疑問や質問があればご記入ください:

---